

高校世界史プリント（過去問類似）

現代（冷戦～グローバル化） No.2

名前

得点

/10

問1 1970年代末、米ソ間のデタント（緊張緩和）を破綻させ、「新冷戦」と呼ばれる対立の激化を招いた象徴的な出来事がある。ある大国が南アジアの隣国における社会主義政権を支援するために行った軍事介入と、これに対する抗議としてアメリカ合衆国や日本などの西側諸国が1980年のモスクワオリンピックへの参加を拒否した一連の事態を指す歴史用語として最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アメリカのベトナム介入 2. アメリカのグレナダ侵攻 3. ソ連のアフガニスタン侵攻 4. ソ連のハンガリー介入

問2 大躍進政策の失敗後、劉少奇とともに市場経済的な手法を取り入れた経済調整政策を進めたが、のちに開始された文化大革命において「資本主義の復活をはかる実権派（走資派）」として激しく批判され、失脚した人物は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 江沢民 2. 毛沢東 3. 胡錦濤 4. 鄧小平

問3 アフリカ東部に位置し、長年にわたりポルトガルの植民地支配を受けていたが、第二次世界大戦後に解放戦線による武装闘争を展開し、1975年に本国の政変を経て独立を達成した国はどこか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. モザンビーク 2. アンゴラ 3. ギニアビサウ 4. カーボベルデ

問4 マレーシア連邦からの分離独立を主導し、独立後の都市国家において初代首相に就任した政治家は誰か。彼は開発独裁と呼ばれる強力な指導体制のもとで、外資導入による急速な経済成長を実現した。（2009年 全国公立入試 類似）

1. アウン・サン 2. ホー・チ・ミン 3. リー・クアンユー 4. ポル・ポト

問5 1960年代末から西ドイツの首相を務め、東ドイツとの基本条約締結やソ連・ポーランドとの国交正常化を実現する「東方外交」を推進し、冷戦期の緊張緩和に大きく貢献した政治家は誰か。（2014年 全国公立入試 類似）

1. ブラント 2. イーデン 3. フランコ 4. アトリー

問6 第二次世界大戦前のブロック経済化が世界恐慌を深刻化させ、大戦の一因となったことへの反省から、1947年に調印された国際協定は何か。加盟国間での無差別待遇や関税障壁の削減を通じて、自由な国際取引を促進することを目指した。（2021年 全国公立入試 類似）

1. アジア太平洋経済協力会議 2. 関税と貿易に関する一般協定 3. 国際復興開発銀行 4. サービスの貿易に関する一般協定

問7 1970年代に主要先進国が変動相場制へと移行するなか、アジアの金融センターとしての地位を確立しつつあった香港では、1983年に自国通貨の価値を、ある特定の国の通貨の価値と連動させる制度が導入された。このとき、香港ドルがその価値を固定する対象とした通貨を発行している国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国 2. メキシコ合衆国 3. フランス共和国 4. イタリア共和国

問8 冷戦期には永世中立国としての立場を維持していたが、冷戦終結にともなう国際情勢の変化を受けて方針を転換し、1995年にスウェーデンやフィンランドとともにヨーロッパ連合（EU）に加盟した、ウィーンを首都とする国はどこか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. フィンランド 2. ハンガリー 3. オーストリア 4. スウェーデン

問9 第二次世界大戦後、旧宗主国であるフランスは東南アジアにおける支配権の再維持を図ったが、現地独立勢力との間で激しい武力衝突が生じた。1954年にフランス軍が決定的な敗北を喫し、同国がインドシナから撤退する直接の契機となった戦闘は何か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. ディエンビエンフーの戦い 2. テト攻勢 3. スラバヤの戦い 4. カシミール紛争

問10 冷戦下で東西両陣営の対立が激化する中、いずれの軍事同盟にも加わらない第三世界の国々が結集を図った。1955年にインドネシアの都市で開催され、平和共存や反植民地主義を掲げる平和十原則を採択した会議は何か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. サンフランシスコ講和会議 2. アジア＝アフリカ会議 3. モスクワ三国外相会議 4. ジュネーヴ外相会議

答え合わせ・解説 No.2

| | | |
|-----|------------------------------|--|
| 問1 | 答え 3 ソ連のアフガニスタン侵攻 | 1979年12月、ソ連は隣国アフガニスタンの親ソ派政権を維持・支援するために軍事介入（アフガニスタン侵攻）に踏み切った。この行動は、1970年代を通じて進んでいた米ソ間のデタント（緊張緩和）を決定的に崩壊させ、「新冷戦」と呼ばれる緊張状態をもたらした。アメリカ合衆国のカーター大統領はこれに強く抗議し、翌1980年に開催されたモスクワオリンピックへのボイコットを呼びかけ、日本や西ドイツなどの西側諸国もこれに同調して不参加を決めた。 |
| 問2 | 答え 4 鄧小平 | 大躍進政策の失敗後、劉少奇とともに経済調整を行い、のちに文化大革命が始まると「走資派（資本主義の道を歩む実権派）」として批判され失脚した。新生活運動は蒋介石、平和五原則の発表は周恩来、毛沢東の後の国家主席就任は劉少奇の事績である。 |
| 問3 | 答え 1 モザンビーク | 15世紀末のヴァスコ・ダ・ガマの航海以来、ポルトガルはアフリカ東海岸に進出し、この地を植民地とした。第二次世界大戦後、アジアやアフリカで独立運動が高まる中、現地ではモザンビーク解放戦線（FRELIMO）が結成されて激しい武装闘争が展開された。1974年にポルトガル本国で独裁体制が打倒される政変（カーネーション革命）が起こると、新政権は植民地の独立を容認する方針に転換し、翌1975年に正式に独立が達成された。 |
| 問4 | 答え 3 リー・クアンユー | シンガポールの独立を主導した人民行動党（PAP）の指導者であり、1959年の自治領政府首相から1990年まで長期にわたり政権を維持した。外資の積極的な導入や教育水準の向上、徹底した社会管理を通じて、資源の乏しい小国をアジア有数の経済大国へと成長させた。 |
| 問5 | 答え 1 ブランド | 西ドイツの首相として、東側諸国との関係改善を模索する「東方外交」を主導した。1970年にポーランドを訪問した際には、ワルシャワ・ゲッター蜂起の記念碑の前で膝をついて謝罪したエピソードが有名である。東ドイツとの基本条約締結などの功績により、1971年にノーベル平和賞を受賞した。 |
| 問6 | 答え 2 関税と貿易に関する一般協定 | 1930年代の世界恐慌期、主要国が自国や植民地を囲い込むブロック経済政策をとったことが、第二次世界大戦の勃発を招いた一因となった。この反省に基づき、戦後の1947年に調印されたのがこの協定である。自由、無差別、多角的な貿易を原則とし、関税の引き下げや非関税障壁の撤廃を推進した。のちに1995年、より強力な権限を持つ世界貿易機関（WTO）へと発展的に解消された。 |
| 問7 | 答え 1 アメリカ合衆国 | 香港は1983年10月に、香港ドルの価値を米ドルに対して固定する「米ドルペッグ制」を導入した。1970年代に主要国が変動相場制へ移行したのに対し、香港は米ドルとの固定相場関係を維持することで、通貨の安定と国際金融市場における信頼性を確保しようとした。したがって、連動対象の通貨（米ドル）を発行している国はアメリカ合衆国である。 |
| 問8 | 答え 3 オーストリア | 冷戦期に永世中立国となったオーストリアは、東西対立の最前線に位置していたこともありECへの加盟を見送っていたが、冷戦終結とソ連解体によって安全保障上の制約が緩和されたため、1995年に同じく中立国であったスウェーデン、フィンランドとともにEUに加盟した。 |
| 問9 | 答え 1 ディエンビエンフーの戦い | 第二次世界大戦後に独立を宣言したヴェトナム民主共和国に対し、フランスは植民地支配の再建を企てて軍事介入した。しかし、1954年にヴェトナム民主共和国軍がフランス軍の要塞を攻略して勝利を収めたことで、フランスは撤退を余儀なくされ、ジュネーブ休戦協定が結ばれることとなった。 |
| 問10 | 答え 2 アジア＝アフリカ会議 | 冷戦下において、米ソの二大陣営のいずれにも加わらない非同盟諸国（第三世界）が結束を強める動きを見せた。1955年、インドネシアのバンドンにアジア・アフリカの29カ国が集まり、平和共存や反植民地主義、主権の尊重などを盛り込んだ平和十原則を採択した。この会議は、第三世界の国際政治における地位を高める契機となった。 |